

令和3年度 第3回 保護林管理委員会等における意見概要と対応について

NO	課題	委員からの主な意見	対応の方向性など
1	R3モニタリング調査実施保護林に係る保護・管理、管理方針書の記載	<p>【野岳イヌツゲ希少個体群保護林】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えびの高原ではシカが増えたときに最初にイヌツゲが最初に食害を受けていることから、この保護林でも注意した方が良い。 <p>(管理方針書全体：R2年度の保護林管理委員会での意見)</p> <p>地形・地質の状況や山塊全域の様子が分かるように記載して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査時には、下層植生だけでなく、着生植物の生育場所を提供する巨木にも着目して調査してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本保護林では低木へのシカ食害跡もみられないことから、健全な森林を保っていると判断される旨の記載とともに、病虫害の発生やシカの侵入・定着状況の有無を注視しつつ、必要に応じて対応策を検討する旨を記載した。 ・昨年度改訂した各保護林の管理方針書と同様、今年度改訂する各保護林の管理方針書においても、できるだけ記載するようにした。 ・引き続き、過去調査等から着生植物が多い保護林については、モニタリング調査の項目に可能な限り反映させることとしている。
2	重点的対策実施保護林の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ニホンカモシカの錯誤捕獲を避けるような取組をお願いしたい。 ・一般の人たちから修理の必要情報の提供を受けるなど、地域と共同したメンテナンスの取り組みの工夫をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニホンカモシカの生息区域については、可能な限りカモシカの錯誤捕獲をさけるよう罾設置箇所の検討やシカへの誘引餌を使ってニホンジカの捕獲に取り組み、錯誤捕獲が生じた際には速やかに放獣を行う、こととしている。 ・シカ被害対策などについて、登山者など一般の人達との協業について検討を進めたいと考えている。
3	R4モニタリング調査実施保護林について	<p>【鬼ノ目山生物群集保護林】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然スギの生態的な中心地にプロットを設定していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天然スギの生育地の探索を行い、森林詳細調査モニタリング地点の振り替えを実施（議事（5）①で報告）
4	緑の回廊に係る設定方針の改定等について	<ul style="list-style-type: none"> ・留鳥型の猛禽類と渡りをする猛禽類と水鳥における具体種ごとの留意すべき事項の一部は適当ではない記述がある。 ・植物種の科名について新しい分類体系での整理や種名の再確認をされたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前確認頂いた参考資料2-1及び同2-2及びこれらを反映した資料3-1及び同3-2の評価項目及び別紙1にて対応済み。